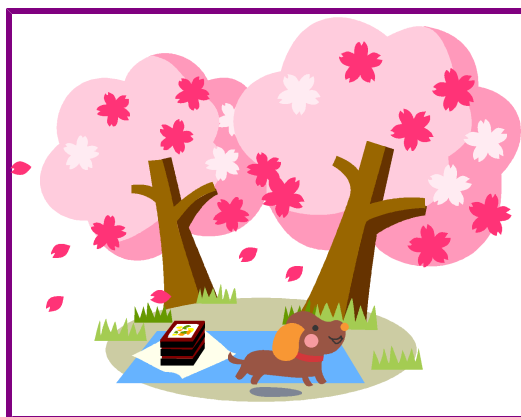


めぐみイエス・キリスト教会

2020年3月15日(日)第三主日礼拝
週報「通算第498号」



2020年標題聖句

第I テサロニケ5章16節~18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時~11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時~7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分~7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年3月15日 第三主日礼拝
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時
司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌108「丘に立てる荒削りの」 p. 150
- 【交読文】 No.51 マタイの福音書5章 p. 920
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌505「主われを愛す」 p. 807
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【先週説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.7 「私の十字架」
- 【聖書朗読】 使徒の働き1章4節～5節(新約p. 232)
- 【祈 禱】
- 【説 教】 《聖霊のバプテスマ》 鈴木 竜実 牧師
- 【聖 餐 式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌198「God Bless You」 p. 294
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

◎本日の聖書箇所【使徒の働き1章4節～5節】(新約p. 232上段)

1:4 使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。

1:5 ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」

●ポイント1.主イエス様の命令とは？

※ルカの福音書24章44節後半～49節「二階の大広間にて」(新約p.174)

24:44 「私がまだあなたがたと一緒にいた頃、あなたがたに話した言葉はこうです。私について、モーセの律法と預言者たちの書と詩篇に書いてあることは、すべて成就しなければなりません。」

24:45 それからイエスは、聖書を悟らせる為に彼らの心を開いて、

24:46 こう言われた。「次のように書いてあります。『キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、

24:47 その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、あらゆる国の人々に宣べ伝えられる。』エルサレムから開始して、

24:48 あなたがたは、これらのことの証人となります。

24:49 見よ。私は、私の父が約束されたものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」

●ポイント2. 父の約束とは？

※ヨハネの福音書14章16節～17節「もうひとりの助け主」(新約p.214下)

14:16 「そして私が父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与え下さり、その助け主がいつまでも、あなたがたと共にいるようにして下さいます。

14:17 この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたと共におられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。」

●ポイント3. 「聖霊のバプテスマ」とは？

※使徒の働き1章8節「主イエス様の約束から」 (新約p.232下段)

1:8「しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、私の証人となります。」

※第Iコリント人の手紙4章20節「使徒パウロの証し」 (新約p.332上段)

4:20 神の国は、言葉ではなく力にあるのです。

※エペソ人への手紙5章18節後半「使徒パウロの命令」(新約p.390下段)

5:18 御霊に満たされなさい。

◎先週のメッセージの概要【四十日にわたって】

《主イエス様は、使徒たちに三度にわたって、受難予告をされました。「ご覧なさい。私たちはエルサレムに上って行きます。人の子は祭司長や律法学者たちに引き渡されます。彼らは人の子を死刑に定め、異邦人に引き渡します。十字架につける為です。しかし、人の子は三日目によみがえります。」ルカが言います苦しみとは、十字架を指しています。

次にルカは、「数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された」と証しています。

4つの福音書から分かることは、主イエス様は、三日目の朝に、まずペテロに現われ、その日の夕方に弟子たちに現われ、その八日後にまた弟子たちに現われます。そしてガリラヤ湖畔において、再三現われますが、それ以降も、弟子たちに現われたことをルカは暗示しているのです。

しかし私たちには、十一弟子たちがガリラヤからエルサレムに戻った後のことは分かりません。なぜなら書かれていないからです。しかし、パウロは、その時に起こったであろう出来事を、その書簡に書き記しています。『キリストは、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、また、ペテロに現れ、それから十二弟子に現れたことです。その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中にはすでに眠った人も何人かいますが、大多数は今なお生き残っています。その後、キリストはヤコブに現われ、それからすべての使徒たちに現れました。』と。

ルカは、とても重要な真理を述べています。それは、イエス様が本当に、死からよみがえられたことであり、生きておられると言うことです。

その真実と真理を弟子たちに、徹底的に分からせる為にも、何度も彼らにご自身を現わし、神の国について教えられたのです。神の国とは、主イエス様が統治される王国を指しています。ヘブル書は言います。『イエス・キリストは、昨日も今日も、とこしえに変わることがありません』と。》

◎お知らせ

※次回礼拝は、3月22日(日)に午前と午後に行ないます。また「聖書学び会と祈り会」は、3月18日(水)・25日(水)は、各家庭にて行ないます。